

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リカバリー焼津本町			
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日 ~ 2025年 10月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 10月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	二部屋の広い室内空間が確保できていることが大きな メリットとなっている。 活発に動き回る児童・生徒も多く在籍をしているので、 更なる有効活用を図りたい。	広い壁面をスクリーンとして利用し、プロジェクタによる 投影を行っているが、効果的な支援に役立っている。 半面、安易に動画鑑賞を希望する子ども達に対し、 譲り合いの精神や集団行動の必要性、時間厳守の大切さ などを教えてゆくことも必須となっている。	二部屋それぞれの室内空間は広いものの、互いの見通しが 非常に悪く、別室での支援状況が把握しづらい。 職員の立ち位置の工夫や情報連携の方法について、今後も 試行錯誤を重ね、改善を図ってゆく。
2	多くの学校への送迎に対応を行っている。 (藤枝特別支援学校、同焼津分校、小川中学校、小川小学校、 焼津西小学校、豊田小学校、わかば高等学院)	保護者のニーズに可能な限り応えられるよう、送迎業務の 効率化に取り組んでいる。 帰宅時刻の指定がある家庭が5件、帰宅時に保護者不在の 可能性がある家庭が4件ほどあり、より慎重な送迎計画の 立案が必要となっている。	利用人数や職員の状況に合わせ、必要に応じて送迎開始の 時刻を変更しているが、まだまだ改善の余地は残されて いると思われる。 職員の負担増とならない範囲でより効率的に送迎業務が 実施できるよう努めてゆく。
3	支援時間を延長するための「タイムケア」と、公的機関との 連携を強化する「サポート加算Ⅱ」に取り組んでいる。	長期休業中の送迎を遅くして欲しいと望む保護者に対して 10分刻みの「タイムケア」を提案して実施したところ、 高評価を頂き、今後も機会があるごとに活用したい旨の 連絡を受けた。また、藤枝中央児相や焼津市子相センとの 情報共有を密とするため「サポート加算Ⅱ」を設定したが、 保護者からも共感を得ることができた。	「タイムケア」に関しては職員の負担増につながる懸念も あるため、慎重に実施計画を策定してゆく。 「サポート加算Ⅱ」に関しては保護者からの期待が非常に 大きいと感じている。有益な情報共有を行うことにより 利用児童は勿論のこと、保護者に対してのメンタルケア にも有効活用をしてゆく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会は存在せず、父母同士が交流する機会の設定や 施設の見学会などが催されていない。	8割以上の保護者が就業中であり、父母の会を設立しても 参加のできない可能性が高く、運営方法も懸念される。 見学会のできない最大の理由は駐車場の確保である。 これがクリアされれば見学会実施の可能性は高くなる。	事業所見学会を長期（1～2週間）に設定し、参加希望の 予約を事前に取り、来所方法も踏まえて人数調整を行えば 実施が可能かも知れない。今後の検討課題とする。
2	事業所の活動状況を定期的に発信する術を持っていない。 月刊的な広報誌の発行ができていない。	以前から取り組むべきと考えていたが、なかなか最初の一歩が踏み出せていない。 写真投稿についての保護者からの意向調査は全員から 回答を頂いているので適切な対応は可能である。	とにかく広報誌第1号の発刊と、継続して作成するための 実施計画立案が必要である。特定の職員のみが負担増と ならないよう、効率的な業務分担も考えなくてはならない。 新年度のスタートに合わせ、4月からの発刊を目指す。
3	放課後児童クラブや地域児童との交流機会を今まで一度も 設定をしたことがない。	近隣の放課後児童クラブの存在を把握していない。 また接触する機会もほとんどない。 利用している児童らの特性にも大きな差異があり 円滑な交流ができるかどうか疑問でありリスクも高い。	幸いなことに焼津地区にはリカバリーが4事業所あるため この事業所同士の交流機会を増やしてはどうだろうか。 情報共有に関しても密に行うことができる 周到な事前準備も可能であり、駐車スペースの問題も クリアできる。室内空間的なキャパは十分にあるので 実施の可能性を模索してゆく。